

回文 & 映画タイトル・パロディ

2023/3/22

こじままじこ (小島裕子)

桜の季節ですね。日本の桜は海外でも有名です。鎖国のような三年が過ぎ、桜の時期を楽しみにしていた外国人観光客には待ちに待った春のようです。

今月は「回文」と最近の思い付き「映画タイトル・パロディ」の二本立て。ポストシリーズは「世界のポスト①⑨シリア、イラン、イスラエル編」です。

【回文】

ハルニモモモニルハ (春にも桃煮るは (わ))

レアダハルデモクマヘビクルクルクビヘマクモデルハダアレ

(レアだ。春でも熊、蛇クルクル首へ巻く、モデルは誰〜れ?)

スイセンハルワスレカツオツカレスワルハンセイ

(水仙、春忘れ、且つお疲れ、座る、反省す)

カタキウソノイイワケハイイノソウキタカ (固き嘘の言い訳はいいの。そう来たか)

イタイアアヨウツウヨアアヨウツウヨアアイタイ

(痛いアア、腰痛よ、ああ腰痛よ、アア痛い)

【映画タイトル・パロディ (1)】

風と共に去りぬ → 金と共に去りぬ

(やはり、金の魅力には敵わなかったか・・・)

ローマの休日 → 老婆の休日

(若いころはスクーター、今はお爺さんとランドローバーでローマ観光)

スティンク → スティンク(悪臭)

(哀愁漂う男はいつの間にか悪臭漂う男に・・・)

最高の人生の見つけ方 → 最高の人生を見つけた方

(最高の人生を見つけた方 100 人に聞きました!)

猿の惑星 → 去るの惑星

(この惑星にもう飽きた猿が向かう新しい惑星は・・・)

明日に向かって撃て(ライフル) → 明日に向かって打て(ワクチン)

「世界のポスト⑱シリア、イラン、イスラエル編」

(友人撮影)



シリア(砂漠の中のオアシス都市パルミラ) シリアのポストは紫色が主流なのでしょうか。変わった色のポストです。



イラン(テヘラン) 木陰に佇むポスト。赤・青・黄色のトリコロール。



イスラエル(ティベリア)
投函口が高いのは簡単に危険なものを入れることが出来ないように、かな？